

09

子ども社会体験科 しくみ～な[®]

子ども社会体験科 しくみ～な[®]は、学童期の子どもたちが、体験を通して社会/経済/仕事の”しくみ”を主体的・対話的に学ぶ、「生きる力」を育むカリキュラムです。「学内授業」と「体験活動」からなり、学内授業ではエデュテイメントを散りばめたオリジナル教材を使ってゲーム感覚で学びます。

体験活動では、一人ひとりがしくみ～なタウンの市民となって異なる役割に就き、社会/経済/仕事のロールプレイを通して楽しみながら学びます。①公教育を通して提供されること、②職業や仕事そのものではなく「しくみ」を学ぶカリキュラムであること、③自治体や学校、企業、地域住民などがみんなで支えるカリキュラムであることが特徴です。

学童期の子どもたちがロールプレイで
社会／経済／仕事のしくみを学ぶ
地域の皆で支える教育カリキュラム

子ども社会体験科

しくみ～な

SHIKUMinä

- 社会体験を学校の一つの科目に
- 世の中のしくみを学ぶ
+
mina
(フィンランド語で“わたし”)

しなやかに生きるための資質・能力 “アントレプレナーシップ”を学童期に身につける

●しくみ～な®の構成要素



●しくみ～な®の特徴

公教育との連動

公立校の「総合的な学習の時間」への導入を目指し、教育委員会・教員と対話しながら開発中

“仕組み”を学ぶ

社内外との交わりやヒト・モノ・カネ・情報の動きを伴うタスクを通じ、社会/経済/仕事の“仕組み”を主体的・対話的に学ぶカリキュラム

みんなで支える

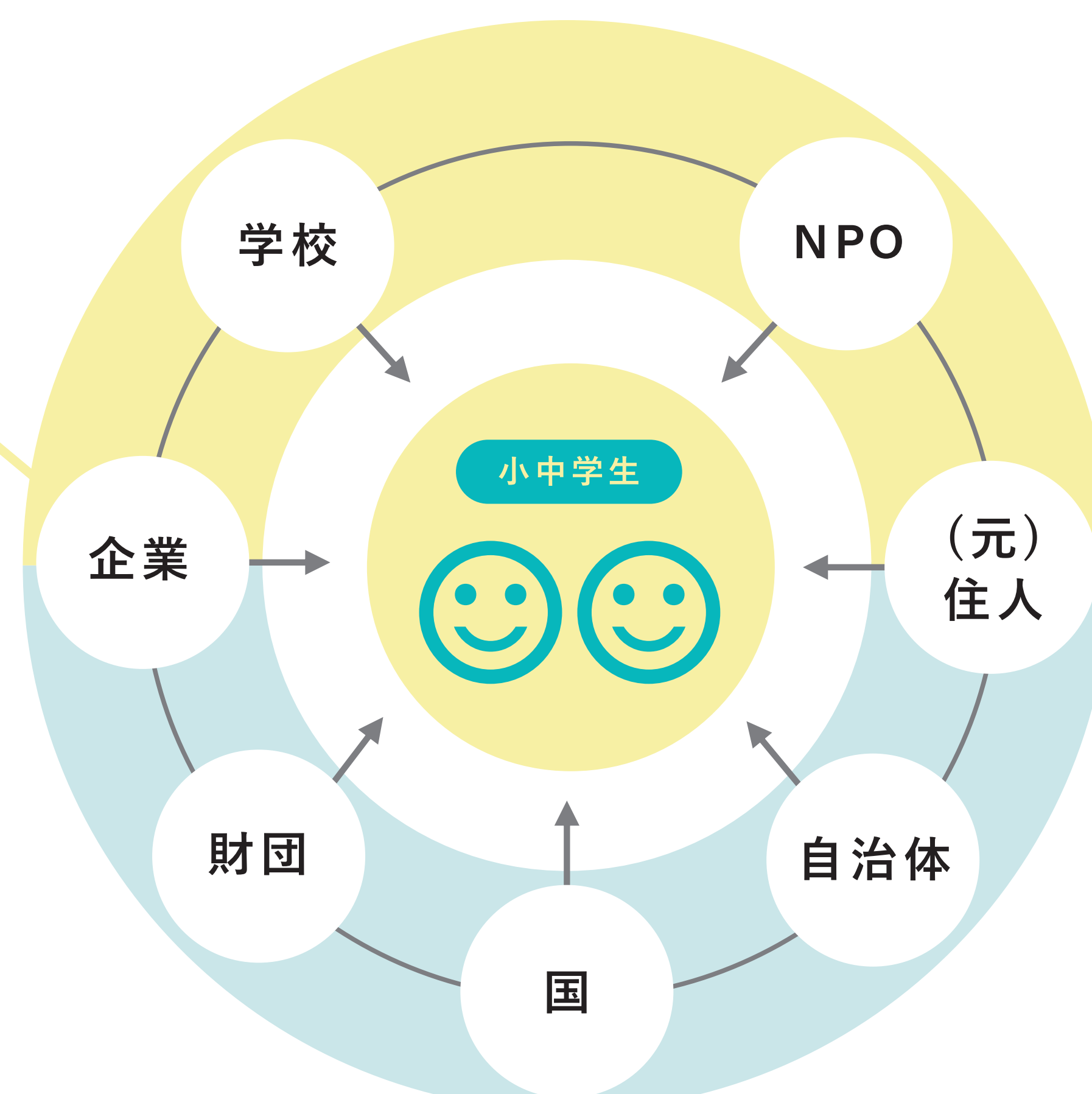
自治体や学校、地域に縁のある企業、財団、市民などがみんなで支えるカリキュラム

●自律協生社会における教育

様々なプレーヤーが、それぞれの役割を果たしながら関与することで、「みんなで支える教育」の実現を目指しています。

運営面

教育を教師、学校任せにしない



参加者・見学者からの反応

一つのマンションを建てるだけでも多くの費用や会議などが開かれていることを知れた。
(6年 東急不動産)

仕事や社会のしくみ、 複雑さの理解

接客だけではなく、会社の中ではほかにもしていることが分かりました。
(6年 区役所、しくみ～なエンタ)

失敗はいろんな原因があるという事。
(6年 JSOL)

同じ職業でも違う仕事だと結構違った。
(6年 区役所、東急不動産)

区役所は、街のみんなを支えるだけの役わりだと思っていましたが、DCMの人やJSOLの人たちなどに、たくさんの会社の人たちと協力して支えられている事に気付きました。
(5年 区役所)

大切な事は、「事前に準備」をし、「協力」する事です。
「事前に準備」をすること。
もっと学習が楽しくなり、行うこともすいすいできる。また、「協力」をする事で、はかどりやすくなり、
出来ることが増え、どんどん相手も、自分も成長していけるという事を学べました。
(5年 三井住友銀行)

仕事をするには団結力と行動力が必要なことが分かりました。
(6年 JSOL)

①他の会社と協力することがむずかしいということ

他の会社と協力するには意けんをそろえなければいけません。その時意けんのすれちがいがおきやすくてまとめるのがむずかしかったです。

②判だん力が大事ということ
社長は最終的に自分が決められます。その時やくに立つこともあればむずかしいこともあります。一步まちがえたら大変なことになる。
つねにそう思って判だんしなきゃだなど思いました。
(5年 しくみ～なエンタ)

一つ一つの行動にせきにんをもつことです。
健診料金の回収にいくときに自分がまちがってしまふとその会社が赤字になってしまうしもどそうとしても何円かえしたりもらったりすればよいのか分からなくなってしまうので集中して行った。
(5年 健診センター)

早めの行動、みんなに気づいてもらうのをまつんじゃなくて声をかけたほうがいいということ
(5年 区役所)

自分がいまからどこでどんなことをするというのを仲間に伝えることで仕事がスムーズに進し、「なくした」ということが起こりにくくなることが分かった。
(5年 渋谷再開発協会)

どの会社も人の事を考えたりするのが大切なことを知れました。

(6年 渋谷再開発協会、区役所)

1人で考えると少ししか思いうかばないけど、3人で考えれば考えるスピードも上がるし、いっぱいいろいろな意見が出てくるということも学んだ。
(5年 渋谷区)

仕事に必要なちからの気づき

私がいへんなときに、友だちがたすけてくれて、友だちが大へんなとき、私がいへんなとき、友だちがたすけてあげるといふ協力して仕事するって感じがしました。
(5年 DCM)

ただ相手の話をひいていすると話が進まないということ。
(5年 東急不動産)

会社の一番上の役職をやってみるとしくみ～なでも会議などの仕事も増えて大変だった、ということ
は本当の仕事ではもっともっと仕事が増えて大変になるということが分かった。
(6年 三井住友銀行)

お店の人たちは、私たちよりも広いお店で、たくさんの商品を売っているから、お店の人たちがすごい大変なことを知った。
(6年 DCM)

実際に仕事をするともっと大変だと思うので練習みたいにできてよかったです。
働いている人はすごいと思いました。
(5年 健診センター)

仕事の大変さ、難しさの体感

仕事があるときに休んだりサボったりすると復がめちゃくちゃ大変で1個でもわすれるともうできなくなりそうなのがあることを学びました。
(5年 JSOL)

働いて給料をもらえるのが当たり前だと思っていたが現実には甘くなかった。
(6年 JSOL)

仕事では、物事を(あえて)決めないということもあることを学んだ。
(5年 三井住友銀行)

教育関係NPO

子供たちが主体的に生き生きと学習活動をしている姿が大変印象的でした。

教員

全体的な空気が非常に主体的でポジティブ、役割になりきっている。
大人の助けを必要としていない。
話をきいた校長、担任、企業、保護者、子どもすべてポジティブな感想だった。

子どもたちが日常よりも主体的に動いている。反省を生かして2日目に臨んでいる子どももいる。成長度が高いと感じる。

教育委員会